

今までの常識は通用しません 自宅にありますか? 洪水・土砂災害ハザードマップ



台風19号による多摩川の増水(福島・郷地地区)

豪雨による大きな被害が全国各地で発生しています。私たちの住む昭島市は山間地域ではありませんが、南側には多摩川、東側には残堀川が流れており、洪水や土砂災害の発生も想定され、けっして他人事ではありません。昨年の台風19号(2019年10月)では、人的被害はありませんでしたが、多摩川の増水により、避難所が市内26ヶ所に開設され、1137人が避難されました。

昭島市は「洪水・土砂災害ハザードマップ」を改訂し、市内全世帯に配布しています(2020年7月)。洪水・土砂災害は事前にある程度予測できる災害です。本マップを活用し早めの行動をお願いします。

昭島市
AKISHIMA CITY Flood And Landslide HAZARD MAP
昭島市 洪水災害 山間災害 危険地図
아키시마시홍수위도사재지역도

洪水・土砂災害ハザードマップ

? ハザードマップとは

ハザードマップとは

「自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所、防災関係施設的位置等を表示した地図」です。

作成の目的

近年、集中豪雨等による水害や土砂災害が頻発していることから、東京都では想定し得る最大規模降雨を対象として流域川流域浸水予想区域、土砂災害が発生した場合に被害が生ずるおそれのある区域として土砂災害警戒区域を公表しました。そのため昭島市では、ハザードマップを新たに作成し、全市に配布しました。洪水や土砂災害の被害を最小限にするためには、自宅から自宅やその周辺が洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域にかかっているかを確認しておくことや、安全な避難所として親戚や知り合いの家、最寄りの公共の避難場所やその避難経路について把握しておくなど、災害が起きる前に正確な情報を抑えておくことが何より重要です。また、大雨や台風などが近づいているときは、気象情報や河川情報に注視するとともに、市からの各種災害情報を取得できるようにしておくことも必要です。そういった目的からの学習や心構えにより、円滑かつ迅速な避難を確立し、被害の軽減を図ることができます。このマップを活用していただき、水害や土砂災害時の避難行動等に役立ててください。なお、この洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、土砂災害が発生する場合がありますので、十分に注意してください。

Q マップの利用方法

- 1** 自宅付近の洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域を確認しましょう。自宅がある場所は何色に塗られていますか?浸水想定区域を確認してください。自宅がある場所は土砂災害警戒区域にかかっていますか?次に自宅付近の避難場所等を確認しましょう。※地下室や地下駐車庫などは、着色されていないことも浸水するおそれがあります。※土砂災害警戒区域域外のがけ(急傾斜地)でも土砂災害が発生するおそれがあります。
- 2** 土砂災害警戒区域等の危険な場所を避けて、できる限り浸水しないところ、越えて浸水するおそれのないところを通るような避難経路を設定しましょう。
- 3** 家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。設定した避難経路に危険な箇所がある場合には、避難経路を見直しましょう。

- ①** 自宅付近の洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の確認
- ②** 避難所や避難経路を事前に家族で話し合い設定する。
- ③** 早めの行動(ご高齢の方、障害のある方乳幼児等は警戒レベル3で避難開始)

裏面にハザードマップの
情報収集方法など掲載

避難に不安のある方は地元自治会にご相談下さい